



まひる

題字・河井道
2021年度 第1号
2021年5月27日発行

私が生まれ育ったのは北九州市です。当時は工場の煤煙のひどいところでした。父親は衣料品の卸売りの商売をしていました。私の父は幼いころ父親を病気でなくし、高等小学校を出るとすぐに北九州の親戚を頼って丁稚奉公し、自立して家庭を作り六人の子供を得ました。私は三番目でした。小学校の一年から四年の夏まで太平洋戦争の最中でした。終戦のころは履き靴がなく、裸足で学校に通ってました。食べ物も乏しいのです。それでも父親は朝夕必ず神棚と仏壇にご飯と水を捧げ祝詞と経を読んでいました。

大学に入ってしばらくして親しい友人に誘われて大学のYMCAの寮に入りました。寮費と食事が安いというのが魅力でした。その後すぐ近くにあった吉田教会を見つけ、通いだしました。夏休みに郷里に帰って父親に「教会に行っている」という話をしましたところ、「そりゃいいことだ」と予想に反した答えが返ってきました。父は信仰を持つという一点の大切さを自覚して激励してくれたのです。会社に入るとき願書に「キリスト教」と書いて、面接で役員に質問攻めにあいましたがその夜に「入社合格」の電報が届きました。

学校を卒業して六〇年余になりますが、その間一〇年間ほど教会に行かぬ時期がありました。

「放蕩息子」の日々です。今思っているのは神様とか仏様とかいろいろ呼び名は違っても超越者、絶対者がおられるのは間違いない、その教えもほとんど同じ、よく似ていると思っています。人を愛せ、悪いことをするな、平和を愛せ、罪を犯すな、希望を捨てなな。どうかコロナにやられませんが、などに、などというのは最近の定番です。

私が洗礼を受ける覚悟を固めたのは、「神の聖霊を悲しませてはならない」という聖書エフェソの信徒への手紙四章三〇節のみ言葉に接した時です。電撃に打たれたような感じでした。父や母が私の苦しい時辛い時に悲しみを案じてくれていました。それと同じように、それ以上に神の聖霊が悲しみ心配してください、やはり神の教え、規範をちゃんと守らなければいけない、それが神の愛にこたえる道だということをおもったのです。大学三年の時でした。

学園の八〇周年の時、原田積善会から多額のご寄付をいただきました。そのお礼に前任理事長の一角義子さんと二人で何っ

**神の聖霊を
悲しませてはいけない**

理事長 宗雪 雅幸

たのです。その折創立者のご仏壇にお参りをしました。最初に一色さんが、仏教のお作法の通り香を焚き、鐘を鳴らし、丁寧に礼拝されました。見事なお作法でした。創立者への感謝、敬意を込めたもので、私もそれに倣いました。

昔、琵琶湖のほとりにある五個荘という近江商人の発祥の地を訪れたことがあります。「売り手よし、買い手よし、世間よし」というのが近江商人のモットーで、屋敷の部屋の壁に「箴言」と題する家訓が掛けてありました。

「一、互譲以テ相和シ業務ニ努カスベシ 一、今日成シ得ベキ事ハ明日ニ延バスナカレ 一、正シキ心掛ヲ以テ身ヲ潔白ヲ保ツベシ 一、言行ヲ慎ミ無益ノ交ヲナスナカレ 一、温顔ヲモッテ人ニ接シ心ノ平静ヲ期スベシ」

これらの近江商人の生き方はその地のキリシタン大名蒲生氏郷の転封によって伊勢松坂にも

移されました。後年発展して大商社、百貨店、繊維会社、鉄道会社などを生み出します。

伊勢は恵泉の創立者河井道先生の故郷でもあり、原田積善会もそこで生まれた慈善団体でした。

今年の春は桜をはじめいろいろの花が特別に美しく感じられます。コロナ禍の時でもあるからか、美しい花々を特別にいい感じで見えています。

春に巣立っていく卒業生、新しく入学する新入生の皆さんに相對して心から神の守り、祝福を祈ります。どうかしっかりと勉強してほしい。勉強し、考える習慣を身につけてほしい。勉強するテーマはいろいろでよい。勉強し続けることによってやるべきことが明確になってきます。考えることによって行動も変わってきます。この習慣、行動を身につけることで人間は発展し向上するのだと思います。「学生」という言葉は、この学ぶ人という意味です。学ぶことで豊かな人間になるのだと思います。「アリとキリギリス」の寓話はみんな知っています。知っているだけではなく、行うことが大切なのだと思います。そういう説教はもう聞き飽きたと思うかもしれませんが実行しなければ意味がありません。自戒も含めて心新たにそうしたいと私も思っています。